

言語文化研究科 言語文化専攻 [博士後期課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)

◆言語文化専攻 [博士後期課程]

言語文化専攻 [博士後期課程] では、日本語教育学、異文化コミュニケーション学、比較文化学などの人文科学分野において、次に掲げる学修目標に到達した学生に博士（人文科学）の学位を授与する。

1. 言語文化に関する豊かな学識と自己の専門分野におけるより高度な知識を修得している。
2. 未解決の課題を自ら発見し、その解決のために独創的な研究を遂行する能力を持っている。
3. 学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力を持ち、研究成果を国内外に向けて発信し、専門分野の発展に寄与できる。

カリキュラム・ポリシー(CP)

◆言語文化専攻 [博士後期課程]

言語文化専攻 [博士後期課程] では学位授与方針を達成する学生を輩出するために、以下の方針に基づいて高度で専門的な教育課程を編成・実施する。

1. 人文科学における世界水準の教育・研究を実施できる人材を育成する。
2. 研究指導を通して、研究の方法論を学ばせることで自ら創造的な研究を実施し、その成果を発表する高度な研究能力を身につけさせる。
3. 学会・研究会などに参加する機会を通じて、研究成果を適切に発信し、研究遂行のために必要な情報を収集する能力を身につけさせる。
4. 海外の学会・研究会での研究発表を積極的に推奨し、国際的に活躍できる人材を育成する。
5. 研究倫理の講義を通じて高い倫理観をもち、教育・研究に携われる人材を育成する。